

## 点訳委員会からの報告

### 全視情協点訳委員会

委員長：野々村 好三（京都ライトハウス情報ステーション）

委員：黒崎 よし乃（静岡県視覚障害者情報支援センター）

委員：脇野 協子（滋賀県立視覚障害者センター）

#### I 2022 年度点訳委員会の事業について

点訳委員会では、全視情協加盟施設・団体の点字担当職員の課題や工夫の共有を図りつつ、『点訳のてびき』および『「サピエ図書館」登録点字文書製作基準』を軸に、「サピエ図書館」に登録される点字図書・資料の充実と、点字担当職員の技術向上を目指すことを基本方針に据え、以下のプロジェクトを置いて、事業を行っていきます。

- （１）資料類整備プロジェクト
- （２）「サピエ図書館」点字データ登録団体資格審査プロジェクト
- （３）点字担当者メールマガジン（点字情報便）編集プロジェクト
- （４）点訳ナビゲータープロジェクト

#### II サピエ図書館への点字データのアップ前のカーソル位置の確認について（お願い）

現在、サピエ図書館に登録されている点字データをダウンロードして点字編集システムで開いた際、途中ページや奥付のページにカーソルがある状態になっているケースが見受けられます。

点字使用者の皆様に気持ちよく読書していただくためには、カーソルが点字データの先頭に来ていることが望まれます。

そこで、今後点字図書をデータアップされる際には、以下の２点をお願いいたします。

１．可能であれば、BESX の完成データを、点字編集システムの「ファイル」から「BESX ファイル一括変換」を選んで、まとめて BES に変換し、それをそのままデータアップしてください。この方法でアップしたデータは、最初に開いたときにカーソルが先頭にくることを確認しています。

２．完成前に BES データで修正したものについては、データを開いた際に先頭が表示されることを点検してください。データの先頭が開かないときには、BES データを保存する際に、カーソルを先頭ページの先頭マスに移動させ、「名前をつけて保存」をすることで、次回開いた時にカーソルが先頭ページの先頭マスに来ます。

### III サピエ図書館への漢点字データのアップについて

2022 年 4 月 1 日付の『「サピエ図書館」登録点字文書製作基準』の一部改訂により、以下の一文が追加され、サピエ図書館への漢点字データのアップが可能となっておりますので、改めてお知らせいたします。

6 点漢字につきましても、引き続きデータアップをお願いいたします。

#### 【追加内容】

※登録する漢点字データは、bmt 形式を標準とします。

-----

なお、昨年度の「サピエ研修会」において、漢点字関連のご質問をいただいております。以下に、「全視情協点字担当者メールマガジン点字情報便 第 21 号（2022 年 3 月 31 日発行）より抜粋し、参考情報を記しますので、ご参照いただけましたら幸いです。

#### （参考）

漢点字の概略については、大樹会編「ボランティアのための漢点字入門」をご覧ください。

漢点字としての編集も可能なソフトウェアは、現時点では、ムラオ電子から発売されている「漢点字・かな点字編集システム OP-X」で、サピエで漢点字データとして扱われる「BMT」形式の出力ができます。

なお、横浜漢点字羽化の会では、専用の「漢点字変換ソフト E I B R K W R」による E I B ファイルの提供をされています。

\* 大樹会編「ボランティアのための漢点字入門」

[https://n-braille.net/tajjukai/vol\\_kantenji.pdf](https://n-braille.net/tajjukai/vol_kantenji.pdf)

\* ムラオ電子 販売「漢点字・かな点字編集システム OP-X」

<http://www.muraodos.com/opx.html>

\* 横浜漢点字羽化の会 「漢点字変換ソフト E I B R K W」

<http://ukanokai-web.jp/>

以上